

審査基準

- A. 総合的な評価（重要性、有効性等を重視した総合的な評価）
- B. 改善の手順を含む評価（QCストーリーに準拠した発表が対象）

審査基準

A. 総合的な評価 計25点

①重要性 5点

参考：取り組んだ課題は自分の病院の品質方針の実現あるいは病院のケアやサービスの質向上に寄与していると考えられるか。

日本の病院が直面している課題に積極的に取り組んでいるかなど。

②有効性 5点

参考：この取り組みが目指したことはどの程度実現されたか。

目的、目標は達成されたか。

この取り組みは同種の問題や課題に直面する他の医療機関の参考となるかなど。

③実証性／妥当性 5点

参考：事実やデータ、その他の信頼できる根拠に基づいているか。

改善を導く手順、データの扱い、論旨の立て方は妥当かなど。

④工夫／斬新さ 5点

参考：取り組みの計画またはこれを実践する過程で豊かな創意工夫が認められるか。

日本の医療機関でこれまであまり行われていない新しいアプローチや方法が行われたかなど。

⑤加点 「最高」5点 TQM／QCが重視する基本的な考え方が発揮されているか。

参考：“患者／顧客本位” 後工程はお客様 “システム思考” “重点指向”

“プロセスで作りこめ” “失敗に学ぶ” “ムリ・ムダ・ムラをなくす” など。

B. 改善の手順を含む評価（QCストーリーに準拠した発表に限る） 計100点

1. 問題解決型

2. 課題達成型

審査ポイントの詳細は審査シート参照。

審査基準A用 審査シート

第26回フォーラム用

評価項目	詳細内容	評価点
1. 重要性【5点】	①この取り組みは、医療の質向上や組織にとって重要であるか？ ②取り組んだ課題は、自分の病院の品質方針の実現やケアサービスの質向上に寄与しているか？	5 4 3 2 1
2. 有効性【5点】	①取り組みの効果は顕著に表れているか？ ②この取り組みで目指したことは、どの程度実現しているか？	5 4 3 2 1
3. 実証性／妥当性【5点】	①事実やデータ、その他の信頼できる根拠に基づいているか？ ②改善を導く手順、データの扱い、論旨の立て方は妥当か？	5 4 3 2 1
4. 工夫／斬新さ【5点】	①取り組みの計画や実践する過程で、豊かな創意や工夫が認められるか？ ②日本では見られない、新しいアプローチ方法が使われているか？	5 4 3 2 1
5. 加点【5点】	TQM／QCで重視する基本的な考え方が発揮されているか？	5 4 3 2 1
参考項目	“患者／顧客本位”の考え方	1 ・ 0
	“後工程はお客様”の考え方	1 ・ 0
	“システム思考”の考え方	1 ・ 0
	“重点指向”の考え方	1 ・ 0
	“プロセスで作りこめ”の考え方	1 ・ 0
	“失敗に学ぶ”考え方	1 ・ 0
	“ムリ・ムダ・ムラをなくす”考え方	1 ・ 0
	その他（ ）	1 ・ 0
合計		／25点

※参考項目については、「TQM／QCの基本的な考え方」が発揮されていれば加点する。合計が5点を超えた場合でも、上限は5点とする。

審査基準B用 審査シート（問題解決型・課題達成型 共通）

第26回フォーラム

評価項目			事例発表内容の審査ポイント	評価点
QCストーリーのステップによる評価	①	テーマ選定（10点）	病院や上司方針、実効性、経済性、チームの実力などを考慮し、職場の多くの課題の中から選択し、選定理由を明確にしているか？ また、問題の背景を説明し、テーマに説得力があるか？	5 4 3 2 1
			活動計画を立て、ステップ毎に、メンバーの役割・分担を明確にしているか？	5 4 3 2 1
	②	現状把握（15点）	データを取る目的を明確に示し、悪さ加減が分かるように把握し、視覚的（図・表・グラフ等を活用）に表しているか？ 悪さが分かる工夫をしているか？	5 4 3 2 1
			一面的な現状把握に留まらず、悪さ加減を多面・多角的にとらえ、データを層別して分析・考察を十分に行っているか？	10 8 6 4 2
		攻め所の設定（15点）	現在のレベルと要望レベル、そのギャップを客観的に把握しているか？	5 4 3 2 1
			攻めどころを明確にしているか？ ありたい姿、理想像を明確にしているか？	10 8 6 4 2
	③	目標設定（10点）	『何を』『いつまでに』『どのように』達成するかを明確に示し、目標を『数値』で示し、目標値を算定した『根拠』を具体的に説明しているか？	5 4 3 2 1
			目標達成の数値設定は妥当か？ 100%の結果を狙ったり、極端に低いレベルを目標にしたりしていないか？ サークルの実力に見合った妥当性のある目標であるか？	5 4 3 2 1
	④	要因解析（15点）	現状把握で把握した悪さの要因を『なぜ、なぜ…』を繰り返して十分に洗い出し、適切な解析を行い、重要要因を絞り込み、明確にしているか？	5 4 3 2 1
			重要要因を仮説として把握し、真の要因を発見するために聞き取り・実態調査等の方法で事実・データを把握して、真の要因であることを検証しているか？	10 8 6 4 2
		方策の立案（15点）	方策案（アイデア）を十分に出し切っているか？	5 4 3 2 1
			実現性にとらわれずに、効果があると思われる対策を評価し選び出しているか？	10 8 6 4 2
	⑤	対策の立案と実施（15点）	検証した要因に基づき、具体的にアイデアに富んだ対策を立てているか？	5 4 3 2 1
			立てた対策を実施し、実施内容を具体的にプレゼンテーションしているか？	10 8 6 4 2
		成功シナリオの追求と実施（15点）	効果が高いと思われる方策を実現性や経済性などで評価し、最適策を選んでいるか？ 立てた最適策を具体的にプレゼンテーションしているか？	10 8 6 4 2
			予想される障害及び悪影響を考慮し、その事前防止策を検討しているか？	5 4 3 2 1
	⑥	効果の確認（10点） ※上記2項目はいずれかを選択	※ いずれかを選択 目標を達成している場合 … 達成の程度を審査員の内的基準で判断する	5 4 3 2 1
目標を達成していない場合 … 要因解析（方策の立案）や対策立案・実施（成功シナリオの追及と実施）のステップに戻って再挑戦しているか？ 再挑戦の結果、目標を達成しているか？			5 4 3 2 1	
現状把握と同じ尺度（期間・方法）で測定し、有形効果・無形効果・波及効果まで把握しているか？			5 4 3 2 1	
⑦	標準化と管理の定着（5点）	5W1Hで整理し、標準化・管理の定着・教育に分類してまとめているか？	5 4 3 2 1	
⑧	反省と今後の進め方（5点）	良かった点・悪かった点・進め方などがステップごとに分かる反省になっているか？ 反省に基づいて、次回の活動への展望に触れているか？	5 4 3 2 1	
⑨	プレゼンテーション（5点）	理解しやすい発表だったか？ パワーポイント、報文集は見やすかったか？	5 4 3 2 1	
⑩全体評価（加点点・10点）		医療の質改善（QC的、ものの見方・考え方）という観点から評価して、10点満点で加点点してください	10 9 8 7 6 5 4 3 2 1	
合計				／100点

※ ステップ②、④、⑤の網掛け部分は課題達成型の評価項目です。【評価点×2】は、10点満点になります。

※ 規定時間を超過した場合、時間量に関係なく、各審査員の平均点から1点減点します（講評者が判断）。

□ -1点